



E L E M E N T
c a b s i m · h e a d p h o n e a m p

User Manual

Darkglass Electronics OY.
Helsinki, Finland
www.darkglass.com

正規輸入代理店 株式会社 キョーリツコーポレーション
〒468-0002 愛知県名古屋市天白区焼山1丁目813番地
✉ E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp

Element

Cabsim · Headphone Amp

Elementはキャビネットシミュレーション、アプリによる操作、Bluetooth経由によるバックトラック再生など総合的な機能を備えたデバイスです。2つのヘッドフォンアウトはミュージシャン同士の交わりを可能にし、XLRアウトプットを介してElementをインターフェイスやPAシステムに接続することができます。

他に類を見ない革新的なアプローチで、Elementは現代のミュージシャンのニーズを満たし、インスピレーションを刺激する機能を提供します。

⚠ WARNING

Elementの消費電流は250mAです。レギュレートされた9V-12V DCアダプター（センターマイナス）をご使用ください。環境保全の為電池に使用ができない仕様となっております。

レギュレートされていない電源を使用したり、電圧の間違った電源を使用しますとノイズを発生したり、故障の原因となります。間違った使用方法による故障は保証の対象外となります。

Controls

Phones:

ヘッドフォンアウトプットのタッチセンサー式スライドボリュームコントロール。

Blend:

ヘッドフォンアウトに出力されるメインインプット (Instrument/Amp in) とバックトラック (Bluetooth/Aux in) の音量のバランスを調整するタッチセンサー式スライドバランスコントロール。

Technical Specifications

インプットインピーダンス: 2 Mohm(odB), 18 kohm(-12dB), 12 kohm(-30dB)
消費電流: 250mA
電源電圧: 9V-12V(センターマイナス)

寸法

Width: 64mm(2.95in)
Height: 111mm(4.37in)
Depth: 35mm(1.77in)
Weight: 230g(0.50lb)

免責事項

- ※ 製品の改良等により、予告なく仕様変更となることがございます。予めご了承ください。
- ※ 正規輸入品以外は保証・修理の対象外となりますのでご注意ください。

Elementの接続方法 (必ずご確認ください)

Elementにはフレキシブルなオーディオコネクションオプションが用意されています。

・INSTRUMENT IN/SPEAKER OUT

ラインレベル、楽器レベルの信号を入力するバランス/アンバランスインプット。アンプのスピーカーアウトからの信号をAMP INに入力する際は、スピーカーへのパラレルアウトプットとなります。(ダミーロードを接続する場合はこちらに接続してください。)

・INSTRUMENT OUT/AMP IN

INSTRUMENT INに楽器を入力した際のパラレルアウトプット。アンプのスピーカーアウトからの信号を入力する際のインプットとなります。

・3.5mm ステレオAUXインプット

・Bluetooth接続によるバックトラック/クリックの再生

・2つの3.5mmステレオヘッドフォンアウト

・グラウンドリフト付きバランスXLR出力

Power:レギュレートされた9-12V DCアダプター(センターマイナス、2.1mmプラグ)をご使用ください。
USB:PC/MACに接続しインパルスレスポンスの変更や、ファームウェアのアップデートなどを行います。

Bluetooth

Bluetoothデバイスをペアリングする際は、中央のIRセレクトタッチセンサーを5秒間長押し、LEDが点灯したら離します。デバイス上で“Darkglass Element”を選択しペアリングを行ってください。BLENDコントロールを使用し、接続している楽器とBluetoothオーディオのヘッドフォンに対する音量のバランスを取ってください。

※BluetoothとAUXインプットに入力したサウンドはXLRアウトとinstrument/speakerアウトからは出力されません。

Aux Input

PC/mac、キーボード、ミキサーなどをこの3.5mmステレオインプットに接続することが可能です。BLENDコントロールを使用し、接続している楽器とAUX入力のヘッドフォンに対する音量のバランスを取ってください。

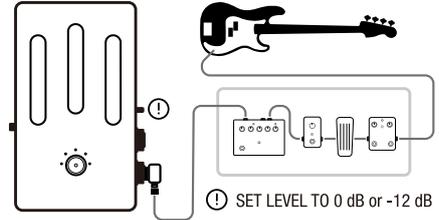
※BluetoothとAUXインプットに入力したサウンドはXLRアウトとinstrument/speakerアウトからは出力されません。

P3

接続例

<ペダルボードとの使用>

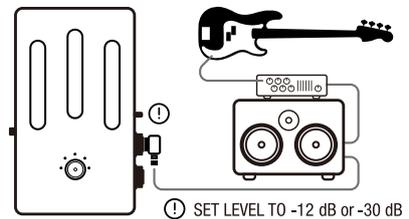
使用する楽器をペダルボードに接続し、信号チェーンの一番最後にElementを接続します。“INSTRUMENT IN”にペダルボードからの信号を入力してください。そして中央にあるタッチセンサーを使用して好みのインパルスレスポンスを選択してください。キャビネットシミュレーターを通った後は、そのままXLRアウトとヘッドフォンアウトから出力されます。



<ヘッドアンプとキャビネットを使用した接続例>

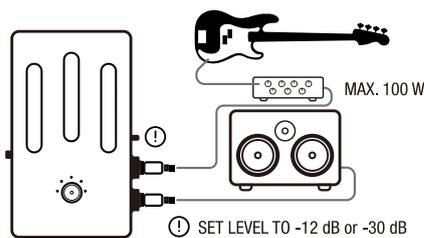
※注意 Elementにはロードボックスとしての機能はありません。真空管アンプを使用する際は必ず適したロードボックスもしくはキャビネットと一緒に接続してください。真空管アンプの故障につながります。

Elementは最大900Wのアンプと使用できるようにデザインされています。最も安全な接続方法としてキャビネットのパラレルアウトからの信号を“AMP IN”に入力してください。そして中央にあるタッチセンサーを使用して好みのインパルスレスポンスを選択してください。キャビネットシミュレーターを通った後は、そのままXLRアウトとヘッドフォンアウトから出力されます。

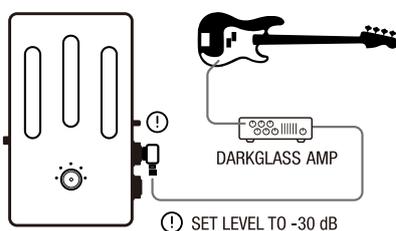


P4

使用するヘッドアンプの最大出力が100Wまでであれば、Elementをヘッドアンプとスピーカーキャビネットの間に接続することが可能です。アンプのスピーカーアウトからの信号を“AMP IN”に入力し、Elementの“SPEAKER OUT”からの出力をスピーカーキャビネットのインプットに入力してください。そして中央にあるタッチセンサーを使用して好みのインパルスレスポンスを選択してください。キャビネットシミュレーターを通った後は、そのままXLRアウトとヘッドフォンアウトから出力されます。



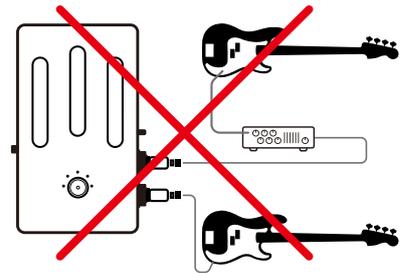
DarkglassのアンプなどのClassDアンプをElementと使用する場合は、ロードやスピーカーキャビネットを使用せず直接接続することができます。アンプのスピーカーアウトからの信号を“AMP IN”に入力してください。そして中央にあるタッチセンサーを使用して好みのインパルスレスポンスを選択してください。キャビネットシミュレーターを通った後は、そのままXLRアウトとヘッドフォンアウトから出力されます。



P5

※注意※

アンプのスピーカーアウトをElementの“AMP IN”に接続した状態で、“INSTRUMENT IN”に楽器を接続しないでください。感電のおそれがあり、接続した機器が故障する原因となります。



Darkglass Suite

Elementの詳細なセッティングやファームウェアのアップデートを行う為にDarkglass Suiteをwww.darkglass.com/suiteからダウンロードしてください。Darkglass Suiteから最大5つまで好みのインパルスレスポンスをElementにロードすることができます。またWAV形式とAIFF形式のオリジナルのインパルスレスポンスをElementにロードすることも可能です。

P6